

## 略歴

岡田 克也 (おかだ・かつや)

民主党副代表、地球温暖化対策本部長、政治改革推進本部長  
衆議院議員 (三重3区、当選6回)

1953年三重県四日市市生まれ(55歳)。東大法学部を卒業後、通産省(現・経済産業省)に入省。90年、36歳で衆院議員に初当選し、現在当選6回目。93年に自民党離党後、総選挙を経て細川連立政権樹立に参画。以後、野にあって「政権交代ある政治の実現」という信念を貫き通す。

98年の民主党結成後は政調会長、幹事長などを歴任し、2004年5月から05年9月まで代表を務める。代表退任後も「現場主義」をモットーに、国内外で対話を重視した活動を続けている。昨年6月には、初の著書となる『政権交代～この国を変える』(講談社)を出版。

趣味はDVD鑑賞、カエルの置物収集、読書。好きな食べ物は果物、和菓子など。尊敬する人物は織田信長。座右の銘は「大器晩成」。家族は妻と一女二男。

2009年5月14日

決意はさらに大きく強く  
——みんなの幸せをあと押ししたい——

衆議院議員 岡田 克也

(代表選挙立候補にあたって)

このたび、私、岡田克也は、民主党代表選に立候補することを決意しました。私の手で、政権交代を果たし、日本の国を変えたい。私の変わらぬ決意があるからです。

私は20年前に衆議院議員に初当選し、93年の政治改革の激動の中で自民党を離党、細川・羽田両政権に加わりました。以来15年間一貫して野党の立場にあって“政権交代のある政治”を目指してきました。98年にいまの民主党を結党し、日本政治の本流を担う政党をつくろうと、10年間全精力を傾注してきました。

いま我が党は小沢代表の下で参議院第一党となりました。そして日本は、政権交代のある国となれるかどうかの分水嶺に立っています。

私はこの4年間、日本をくまなく歩いてきました。のべ350ヶ所、そこで、その地域で暮らす人たち、働く人たち、ご高齢の方々から、子どもたちまでひとりひとりと言葉を交わし、それぞれの生活の中での思いを聞かせてもらいました。このひとりひとりの方々の幸せをあと押しして、みんなの笑顔を見たい。そこに私の思いの原点があります。

私は、5年前の参議院選挙と4年前の衆議院選挙時に、民主党代表として、日本を刷新するための政策をマニフェストの中で訴えてきました。年金の安心のための抜本改革、税金のムダづかいの一掃、ヒモつき補助金の廃止、「コンクリートからヒトへ」……。ところが、これらの課題は、4年経った今でも、何ひとつ実現されていません。

この私の「変わらぬ決意」をもって、いま政権交代を実現し、国民のみなさんおひとりおひとりの幸せをあと押ししたい。この思いで、今回、代表選に立候補を決意しました。

今回の代表選挙を契機に民主党が挙党一致の態勢のもと「開かれた党」として国民の信頼と期待を取り戻し、政権交代を実現するため全力を尽くします。

私は、小沢代表のこれまでの功績に対して深く敬意を表する者のひとりです。ともに自民党を離党し“政権交代のある政治”を目指して、いまの民主党を創り上げてきました。

いま再び、民主党が持つすべての力を結集し、政権交代を実現するために、全身全霊をあげて打ち込む所存であります。みなさんのご理解とご支援をよろしくお願い申し上げます。

## (代表選挙公約)

私は民主党結党以来、政調会長、幹事長、代表として、民主党の政策の基盤を作ってきました。そして、その延長線上にあるのが、現在の民主党の政策です。したがって、その方向性は維持しつつ、次期総選挙のマニフェストとして、さらに具体化します。その上で「政権300日プラン」を作成し、政策の優先順位づけと財源の明確化を行います。このため、代表選挙後速やかに、党内に「マニフェスト作成委員会(仮称)」を設置し、全党的議論を行います。

### I 重点政策

#### 1. 安心できる年金、医療、介護の立て直し、子育て支援を含むセーフティネットの抜本改革

- (1) 年金制度の抜本改革(年金制度の一元化、基礎年金の全額税方式化、過去債務270兆円の切り離し)、「消えた年金」「消された年金」問題の早期徹底解決
- (2) 年齢、地域によらず安心して頼れる医療、介護制度の再構築
- (3) 子ども手当の創設、高校の実質無償化
- (4) 雇用のセーフティネット拡充(雇用保険の適用拡大、求職者支援手当)

#### 2. 政治の強いリーダーシップでムダづかいの一掃

- (1) 官邸・霞が関改革(政府・与党の一元化、人事権と予算の掌握)
- (2) 徹底した行財政改革の断行(天下りの全面禁止、行政刷新会議によるムダ撲滅、国家公務員総人件費2割削減)

#### 3. 「地方主権」で国のかたちを作り直し、地域の元気を取り戻す

- (1) 中央政府の権限・財源を絞り込み、地域のことは地域が決める、地方主権の確立
- (2) 中小企業を地域の基幹産業、雇用の受け皿と位置づけ、支援を充実
- (3) 高速道路の無料化で地方の流通コストを大幅引き下げ
- (4) 国際競争力のある農業の確立と、戸別所得補償制度の組み合わせで、食料自給率のアップ

#### 4. 経済危機を克服し、強い日本経済をつくる

- (1) 地球温暖化対策を軸にした、新産業創造型の成長戦略
- (2) コンクリートへの投資から人への投資へ(医療、介護、教育)
- (3) 技術革新を促進し日本の国際競争力を高める
- (4) 空港、港湾への戦略的重点投資でアジアの成長を日本の成長へ

## 5. 「開かれた国益」を実現するための外交

- (1) アジア地域の信頼関係醸成と相互依存の深化による豊かさと平和の実現
- (2) 価値観を共有するオバマ政権との共働による世界的課題への取り組みと、日米同盟関係の強化
- (3) 世界の核廃絶に向け、核軍縮・不拡散への具体的取り組み（北東アジア非核兵器地帯条約）

## 6. 政治の信頼を取り戻す

- (1) 企業・団体献金の全面的な禁止
- (2) 世襲の制限（同一選挙区で連続して三親等内の親族が立候補することを内規で禁ずるとともに、政治資金の事実上の相続を禁ずる法改正を行う）
- (3) 国会議員の定数1割削減（衆院は比例区80議席減）

## II 政権300日プランの作成と財源の明確化

### 1. 政権300日プランの作成と国民への早期説明

- (1) 来年の参院選までの1年間を「改革第1期」とし、政治改革や行政改革などを短期間で着実に実行
- (2) 残りの3年を「改革第2期」とし、日本経済を着実な成長軌道に乗せ、社会のセーフティーネットを再構築するなど中長期的な課題を克服

### 2. 財源の明確化

徹底したムダ撲滅と具体的な歳出削減。「財源なくして政策なし」との基本原則の下、政策を実行

以上の政策を着実に実行するため、これまで築き上げられた、支援団体および他党との協力関係を引き続き堅持していきます。

以上

## 推薦人名簿

### 衆議院

大串博志	小川淳也	川端達夫	菊田真紀子
高井美穂	田嶋 要	長妻 昭	鉢呂吉雄
藤村 修	平岡秀夫	細川律夫	松本大輔

### 参議院

足立信也	大河原雅子	岡崎トミ子	金子恵美
郡司 彰	高橋千秋	徳永久志	中谷智司
長浜博行	藤本祐司	松浦大悟	松野信夫
水戸将史			

(五十音順)